

東日本大震災 消防署所の活動及び被害状況に係る調査票  
 (死者・行方不明者が発生した太平洋に面した消防本部を対象)

調査日：平成23年4月20日

消防本部名	久慈広域連合消防本部	構成職員数	136名 (H21.10 調)
構成市町村	久慈市、洋野町、野田村、普代村	構成署所数	1消防署 5分署
調査署所名	普代分署 (所在地：普代村)	庁舎職員数	15名、震災時勤務6名

調査対象の消防署所位置



○庁舎外観

<p>庁舎の全景写真 (全景 1)</p>	<p>庁舎の全景写真 (全景 2)</p>
<p>庁舎被害無し</p>	

庁舎の車庫



庁舎の玄関



○庁舎周辺の様子

庁舎近隣開閉門



開閉は職員が操作

普代水門



\* 村中心部への津波の浸入を最小限に食い止めた普代水門（昭和 59 年完成 15.5m）

○周辺の被害の様子

周辺の被害の様子(1)	太田名部漁港(1)
	
被害を受けた普代水門の内陸側(1)	太田名部地区への津波の浸入をくい止めた防潮堤(昭和42年完成 15.5m) (1)
	

その他、特筆すべき事項(例:消防団、他消防本部、警察・自衛隊など他機関との連携など)

- 1 職員及び家族の被害は無かった。
- 2 普代分署周辺は被害の強い地域と全く被害の無かった地域が混在している。

以上